長尾福祉会報

令和2年4月1日
第41号

認定こども園 長尾學舎 × Hearty Villa KIKAKU ハーティ ヴィラ 亀鶴 × 高松くりの木保育園

～ハーティヴィラ亀鶴では様々なイベントを通じて
世代を超えた交流の輪が広がっています～

－長尾福祉会理念－　障害をもっていても　もっていなくても　男も女も
「生まれておめでとう・成長しておめでとう・長生きしておめでとう」といえる
社会づくりをめざします。

ご　挨　拶

ここ数年は多様化・複雑化する福祉課題にどう向き合うか、法人として様々なチャレンジをしてまいりました。それは様々な福祉サービスの受け皿を確立していくということでした。新しい年号である令和になると時を同じくして、子どもからお年寄りまで一人ひとりを一生涯支援できる体制ができたことは、法人職員が地道に学び努力してきた成果であると共に、そこに関わる全ての人々のご支援とご協力の賜物と存じます。そこで、これから当法人に求められることとして、この受け皿をさらに成熟、存続させていくかにかかっていると思っております。

4年前の障害者支援施設のぞみ園の開園20周年に続き、今年は特別養護老人ホームゆたか荘が開荘20周年を迎えました。歴史をつくることとは、常に時代の流れと共に変化と進化が必要と考えます。これからも未来を見据えた各種事業の充実はもちろんのこと、安心安全の向上、さらには地域の福祉拠点としての役割を果たすことが出来るよう進化していきたいと思います。

最後に、この度のゆたか荘開荘20周年に際し、多くの関係各位の皆様からお祝いの声をいただきましたことに対しまして厚く御礼申し上げ、年度当初のご挨拶といたします。

社会福祉法人長尾福祉会　理事長　**森田　浩之**

社会福祉法人は、「社会、地域における福祉の充実・発展」に寄与することを使命とし、社会福祉事業の安定的・継続的経営に務めるとともに、多様な生活課題や福祉需要に柔軟かつ主体的に取り組む公共的・公益的かつ信頼性の高い法人です。

ゆたか荘

「福祉サービスの尊さ」

理事長　森田　浩之

私が初めて福祉に関わるきっかけとなった施設が、このゆたか荘です。事務職員として入職し、最初は右も左も分からず、当時の介護職員にただ迷惑をかけたくないという思いでいっぱいでした。ご利用者の近くで「どうやって声をかければいいか、何をしてあげたらいいのか」日々悩んでいたりもしました。少し経ってから一念発起し資格を取り、そこから一歩踏み出せたような感覚になったことを思い出します。介護技術は教科書1割、9割は利用者様の表情や「ありがとう」という言葉で学びました。一人ひとりの人生の最期に一緒に寄り添うことができることと、一瞬でも幸せに感じてもらえるよう常に考え行動すること、このような尊い仕事は他には少ないと思います。

「利用者様の一瞬一瞬を大切にする」今もそのことを忘れずに福祉サービスに取り組んでいます。今まで一緒に過ごしてくれた利用者様、職員の皆さんありがとうございました。そして20周年おめでとうございます。

「20周年の感謝をこめて」

施設長　朝倉　裕子

ゆたか荘をご利用されている皆様や、たくさんの地域の方々に支えられて今年20周年を迎える事ができ、心より感謝申し上げます。「人生ゆたか・老後ゆたか・長寿を支える」をモットーに、ゆたか荘の礎を築いた開設当時の職員が、法人の成長と共に、障がい者・高齢者・保育等、幅広い福祉の分野で管理者となり、地域福祉の向上に貢献できる人材に成長できました事に喜びを感じています。ゆたか荘での20年間は、たくさんの出逢いや寂しい別れもありましたが、仕事を通して学ぶ事も多く、人として成長できる貴重な経験をさせて頂いております。

これからも、地域との繋がりを大切にしながら、ご利用者が心豊かに、楽しい人生が送れますよう、職員一丸となって、努力を重ねて参りたいと思いますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

誇りを持って

20年…長い年月のようであっと言う間の出来事というのが実感です。

何が正解かもわからない中で、職員みんなで試行錯誤を繰り返しながらご利用者の方々の声を形（介護）に変えていくというのが、難しくも楽しいと感じる毎日でした。

多くのご利用者との出会い、別れを通じて自分自身、人間的にも大きく成長させてもらい、世間では3Kと呼ばれて人材難といわれている介護業界ではありますが、私にとっては誇りある業種で、この道を選んで良かったと改めて感じています。

これからのゆたか荘、この先の自分の人生、ご利用者の方々と共に時代に合った寄り添う介護をこの生まれ育った地域で実践していきたいと考えています。

デイサービスセンターゆたか
所長　矢野　勝久

心をひとつに

「人生ゆたか、老後ゆたかに」とご利用者・ご家族に安心いただける場とケアの提供ができるよう全職員26名が心ひとつに"ゆたか荘"がスタートしました。

とりわけ介護スタッフは新卒者が多く、フレッシュさがいっぱいでした。ベッド・布団・日用品選びから始まり、ケアの基本内容や技術の研修と準備は目まぐるしくかつ真剣そのもの。誰もがスタートの瞬間、そこにいられる事へ誇りを感じながらの毎日でした。不安はありましたが、大先輩であるご利用者が笑顔や激励で成長させてくださいました。開所20周年にあたり、今までにも増してご利用者・ご家族様のお体、お気持ちに寄り添えるスタッフ・ゆたか荘であり続けられる事を願っております。

のぞみ児童デイサービス事業所
元所長　冬木和代

ゆたか荘 開設時の職員

毎日楽しく、笑顔で

学生から社会人になることへの不安が大きかったですが、上司や同僚に恵まれ、たくさんのご利用者と関わりを持たせていただきながら、毎日忙しくも楽しい日々を過ごしていた事を思い出します。

ゆたか荘開荘当時の夏祭りは夜に行われていたんですよ(^^)♪祭りの最後に玄関先に出て市販の花火ではありますが、ご利用者・ご家族とともに夏の風物詩を楽しんだのが良い思い出です。

これからも昔と変わらず、『初心忘れるべからず』で毎日をご利用者様と共に楽しみ、笑い合って過ごしていきたいと思います。

特別養護老人ホームゆたか荘
副施設長　髙村えりこ

向上心を忘れずに

この度は、ゆたか荘開荘20周年、誠におめでとうございます。20年の長きに亘り、長尾福祉会の職員として勤務を続けることができましたのも、前施設長村尾トヨ子様はじめ、諸先輩方や同期、同僚の皆様の支えがあってこそだと思っております。平成12年3月、新設するゆたか荘に管理栄養士として採用され、15年勤務しました。ゆたか荘在職中は、介護保険制度が開始され、栄養ケア・マネジメントがスタート、給食業務の委託で民間の参入や災害対策・感染症対策への意識の育みの時期でもありました。他事業所4ヶ所の調理室の企画に携わらせていただいたのも本当によい経験です。正に私にとっては管理栄養士として邁進した時代だったといえます。

最後になりましたが、ゆたか荘での経験を糧に、これからも向上心を忘れず努力して参ります。これからのゆたか荘の益々の発展とご活躍をご期待申し上げます。

認定こども園長尾学舎　園長　森田　未歩

仲間に恵まれて…

月日が経つのは早いもので就職して早、20年です。開荘日はあたふたしたことを覚えています。その時、前施設長村尾トヨ子様に教わったことでご利用者は人生の先輩です。敬う心を持ってケアして下さい。」「会話は敬語で行いましょう。」今でも心掛けて日々過ごしています。

また、今日まで仕事が続けてこられたのは仲間に恵まれていたからだと思います。嬉しい時には一緒に笑い、苦しい時には互いに励まし合い、いろいろな事を乗り越えてきました。そんな仲間と、これからも助け合い励まし合っていきたいと思います。

ハーティヴィラ亀鶴
デイサービスセンター
センター長　谷風恭子

祝開荘20周年を迎えて

～祝膳を囲み、笑顔いっぱい～

令和２年３月１日、ゆたか荘は開荘 20 周年を迎えることができました。こうしてこの日を迎える事が 出来ましたのも、日ごろより、ご利用者、ご家族、地域の方、また関係機関等の皆様にご支援いただいたお陰でございます。心より感謝申し上げます。

この記念の日をむかえ、施設長、副施設長から 20 周年のあいさつの後、昼食に祝い膳を用意し、ご利用者と一緒に会食を楽しみました。赤飯、蕪蒸し、フルーツ盛り合わせ等の豪華な祝膳、おやつには上用饅頭と、お祝い一色のメニューでご利用者にも大変喜んでいただけました。

これからも 30 周年、40 周年と迎えられるよう、「障害をもっていても　もっていなくても　男も女も生まれておめでとう・成長しておめでとう・長生きしておめでとうといえる社会づくりをめざします」の基本理念のもと、ご利用者にとって安心して生活できる場となるよう努めてまいりたいと思います。今後も引き続き皆様方のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

介護支援専門員　主任　矢武　忠明

人として更に成長

ゆたか荘に就職して 15 年が経過しました。当初は介護未経験であり、諸先輩方の細やかな指導を受けながら「10 年先には先輩方のように見本となれるような職員となる」事を目標にご利用者の方との生活を共にして参りました。

15 年経過した今も 10 年先に目標を置き、介護職として・人として更に成長した自分であるよう自己研鑽を積む毎日です。

15 年前に自分が感じた「先輩方のようになりたい」と思える人材が育成できるよう働きかけを行い、いつまでもご利用者の安心・安全な生活が継続できるよう施設の風土作りを行って参ります。

生活相談員　介護主任　木村　真吾

デイサービスゆたか

積み重ねて

介護職員　三木　嘉昭

2月15日にデイサービス開設14年を迎えることができました。

スタートから今日まで、多くの方にご利用頂きながら皆様と一つ一つサービスを創り上げていった実感で溢れています。

体操・レクリエーション・入浴・食事・送迎等、想いに寄り添い、形にできるよう、試行錯誤を繰り返しながら取り組んできました。

まだまだ道半ばの事業所ですが、これからもご利用者の皆様と共に楽しみ、笑い、愛されるデイサービスセンターとして前進してまいりたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

のぞみ園

卓球大会

生活支援員　棚田　真依

12月13日（金）、高松市西部運動センターで開催された卓球大会に5名の利用者の方が参加されましたが、みなさん一生懸命取り組まれていました。また、他施設の利用者の方との交流もあり、スポーツを通して有意義な時間を過ごす事ができました。

もちつき

生活支援員　木村　佳央

12月20日（金）、のぞみ園の食堂にて「もちつき」が行われました。毎年恒例の行事ということもあり、皆さま、大きな声で「よいしょ！よいしょ！」と盛り上げて下さり、利用者の方も大変喜んで下さいました。警察の方からはクイズや歌の催し物もあり、地域の方との交流の場にもなりました。昼食には、つきたてのお餅の入った雑煮を召し上がり、冬節を感じることが出来た、有意義な一日となりました。

秋の遠足

●男子寮

生活支援員　山石　久

令和元年10月8日（火）に遠足で木下大サーカスに行きました。やや小雨が降っていましたが、予定通り「山かつ」で昼食をとり会場へ到着。サーカスの会場では、開始前や休憩時間におやつやジュースも購入し、食べながら見ることができました。サーカスでは、猛獣ショーや空中ブランコ等の迫力ある演出を見て、驚かれていたり、拍手をしたり、ピエロのマジックショーでは笑ったりと利用者の方は皆様楽しまれており、満足した遠足になったと思います。

●南　寮

生活支援員　武田　邦夫

令和元年11月5日（火）、南寮は「ぴこぴこ精肉店宇多津店」で食事、その後善通寺にお参りに行きました。ぴこぴこ精肉店で「ビーフシチューランチ」を食べました。照明を少し落としたお洒落な雰囲気の中で、いつも食べる事のないビーフシチューを美味しそうに食べていました。最初は少し緊張していた利用者さんも食べているうちに笑顔になり「美味しい！」と喜んでくれました。

善通寺では集合写真を撮った後、自由に散策し、本堂にお参りしたり、お土産を買ったり、各々楽しんでいました。天気にも恵まれ、楽しい1日になりました。

●女子寮

生活支援員　内原　宏子

令和元年11月19日（火）、秋の遠足で塩江セカンドステージに出かけました。ホテル2階の宴会場にて、紅葉を眺めながら食事を堪能され、その後みんなでカラオケをして盛り上がりました。帰りに産直市場で買い物をしてみんなで楽しく過ごした一日となりました。

●通所・生活介護

生活支援員　秋友　誠

令和元年11月20日（水）に、丸亀市にある「うちわの港ミュージアム」へ遠足で行きました。うちわの港ミュージアムでは、うちわ作り体験をしました。職人さんに教わりながら上手に作る事が出来ました。昼食はオークラホテル丸亀でバイキングを美味しくいただきました。午後からは香川県防災センターで地震、火事、暴風、避難の疑似体験をしました。天候にも恵まれ楽しい秋の遠足となりました。

クリスマス会

生活支援員 大津奈津美

12月24日（火）に、のぞみ園でクリスマス会を行いました。各寮の出し物では、ディズニーのパレードをしたり、アニメのキャラクターに扮して歌ったり、職員によるクリスマスソングの楽器演奏やコーラスで、楽しい時間を過ごしました。昼食にクリスマスメニュー、おやつにケーキを食べ、サンタさんが登場。利用者の皆さんプレゼントをもらえて嬉しそうでした。とても楽しいクリスマスとなりました。

ゆうあいスポーツ大会

生活支援員 溝渕 信一

第37回ゆうあいスポーツ四国大会が、「みんなのよさ来い高知大会」と題して、11月11日・12日の2日間高知県春野総合運動公園で開催されました。両日とも天候に恵まれ、元気に楽しみながら競技に参加しました。個々の記録はもちろん、楽しく交流ができる場を目的としており、四国4県の障害者支援施設のみなさんと共に心地よい汗を流しました。それぞれ自分の得意分野では、みなさん力一杯頑張りました。2日間スポーツの楽しさを経験する良い時となりました。

のぞみ児童デイサービス事業所

のぞみホーム1号館・のぞみ児童デイサービス交流カレーパーティー

のぞみホーム1号館生活支援員 宮下 義之

私達2つの事業所は、運動場をはさんで大人と子供の施設が向かい合って建てられています。その2つは、利用時間帯がほぼ反対。挨拶以外に接点を見つけて交わりの機会が持てるように工夫しています。児童デイの夏祭りでは、1号館や地域の方とかき氷を食べたり、土曜日に両方のメンバーが一緒に調理したりしています。

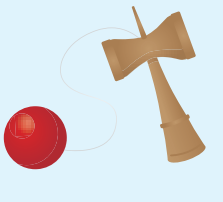
今回は大好きなカレーを作ってパーティーをすることになりました。「ピーラーで皮剥くね」「たまねぎ切ったら目が痛いよ」「ぐつぐつ、美味しそう」「できた！」皆で歌を歌って「いただきます」「おかわりもいいの？」「おいしかったね」片付けまで皆で力を合わせて綺麗にできました。3歳から63歳の総勢、31名。3時間はあっという間で、楽しかった美味しかったカレーパーティーの終了です。「ありがとうさよなら」次の交流の約束もかわしました「また今度」。

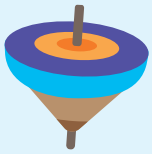
伝承あそび

のぞみ児童デイサービス事業所・児童発達支援管理責任者 山田 邦浩

年が明けて利用2日目の児童デイでは、恒例の「伝承あそび」を行いました。今年はけん玉・竹とんぼ・こま・ヨーヨー等の遊びと、紙皿を使った「こま」の製作もがんばりました。

竹とんぼやヨーヨーを初めて手にして目を輝かせる子がいたり、得意なけん玉をみんなに披露する子がいたりしました。また一生懸命に考え、工夫しながら挑戦した「こま」作りもとても楽しめたようでした。





高松くりの木保育園

「たのしいね」

たんぽぽぐみリーダー　大江　由華

1歳児たんぽぽ組です。4月の頃は歩き始めたばかりでまだまだ抱っこが大好きな甘えん坊の子どもたちでしたが、今では「自分でしたい！」という思いが芽生え、ズボンの着脱など自分でできるようになってきました。また、言葉がたくさん増え友だち同士で言葉のやりとりも楽しめるようになってきました。

今の子どもたちのブームは「音楽遊び」で、その中でも特に好きなのがミルク缶で作った太鼓を歌に合わせて鳴らすことです。いろいろな経験や遊びを通して成長に繋がればいいなと思います。

「ちからをあわせたはっぴょうかい」

うみ・かぜぐみリーダー　上三垣里美

4、5歳児のうみ・かぜぐみは、合奏、合唱、劇、ハンドベルに取り組みました。練習を始めた頃は、バラバラだった子どもたちの気持ちも練習を重ねるごとに、みんなで成功させたいという気持ちが一つになり、意識が変わっていく様子が見られ、日々成長を感じました。本番では、大勢のお客さんの前で緊張の中、ステージに立ち、最後まで一人ひとりが精一杯頑張る姿は、ほんとうに立派になったなと感動しました。見ているこちらも嬉しく、誇らしい気持ちになった発表会でした。ほんとうによく頑張ったね。

「つながる食育」

管理栄養士　太田　麻里子

みんなが春に植えたさつまいもが収穫時期となり、子どもたちは、目を輝かせながら大きなお芋を掘っていました。そのお芋を使って、3歳～5歳児クラスでスイートポテトを作りました。マッシャーやしゃもじを使ってお芋を頑張ってつぶす子。砂糖や豆乳を慎重に入れる子。じゃんけんをして順番を決める子。ボウルに手を添えて友達の手助けをする子。雪だるま型のスイートポテトを楽しそうに作る子。以前は苦手だったお芋のおやつをおいしそうにほおばる子。収穫やクッキングを通して五感を使って「食」を体感する様子や、みんなで作るために試行錯誤する姿を見ることができ、これぞ「食育の醍醐味」を実感できる私にとってもうれしい体験となりました。これからも楽しく有意義な食育の場を提供していきたいと思います。

認定こども園
長尾學舎

生活発表会

主幹保育教諭 池田 麻美

長尾学舎が開園して9ヶ月。4月当初は、泣き声が響いていた園舎も今では子ども達の元気な声と笑顔が溢れています。

令和2年1月25日、生活発表会が開催されました。表現遊びではリズムにのって体を揺らしたり、元気に楽しく踊る姿が見られました。劇遊びや合奏では一人ひとりが役になりきり台詞を披露したり、鍵盤ハーモニカなど様々な楽器を使用し演奏することが出来ました。

初めてのステージにワクワクドキドキの子ども達でしたが、日常の生活や遊びを通して取り組んできた練習の成果を精一杯表現することが出来ました。法人関係者、保護者の方々のご支援ご協力のおかげで終えることが出来ました。これからも子ども達が安心して過ごせるような園を目指していきたいと思います。

今後ともよろしくお願いします。

クリスマス会

心もお腹もいっぱいに…

主幹保育教諭 直原 美香

令和1年12月25日、長尾学舎で初めてのクリスマス会を行いました。職員や子どもたちによる出し物では、手品やハンドベル、歌やダンスを披露し、とても盛り上がりました。ハーティヴィラ亀鶴のサンタクロースとトナカイの登場では、目をキラキラと輝かせながらサンタクロースに近づき、プレゼントを受け取りました。満面の笑みで保育教諭のもとに戻ってくる子どもたちの姿が微笑ましかったです。

給食の先生が作った色とりどりの豪華なクリスマスバイキングに、子どもたちは大喜び！楽しい雰囲気の中、みんなで食事をすることで、心もお腹もいっぱいに満たされ、笑顔の絶えないクリスマス会となりました。

Hearty Villa
KIKAKU
ハーティ ヴィラ　亀鶴

「日常」を楽しむ暮らしを

ショートステイセンター　生活相談員　**多田　明香**

私達ハーティヴィラ亀鶴ショートステイセンターでは、ユニットケアを行っています。「介護が必要な状態になっても、ごく普通の生活を営むこと」を基本とし、利用者の方々が朝起きてから夜寝るまで、そして、翌朝に心地よく目覚めるために、どのようにすれば良いかということを心に留めながら日々のケアを行っています。

施設での日々の生活は単調なものになりがちですが、貼り絵や作品作りといった創作活動で楽しみを持つほか、洗濯たたみや掃除、食後の食器洗いといった家事に取り組み、自宅にいる時と同じような雰囲気で過ごしていただけるように努めています。

また、昨年の4月からは理学療法士も加わり、身体的な機能を維持できるように機能訓練を行っています。理学療法士が1対1で行う訓練のほか、日常生活動作訓練として「歩く」「トイレに行く」といった、現在出来ていることが続けられるようにと介護職員が行っている訓練もあります。

介護が必要になると、ごく普通の生活を営むということが難しくなりがちですが、笑顔で楽しく1日1日を過ごしていただけるように、これからも「日常を楽しむ暮らし」のお手伝いをしていきたいと思います。

「自分らしい生活」を応援します

ケアプランセンターゆたか　センター長　**鎌倉　節子**

ケアプランセンターゆたかでは、現在5名の介護支援専門員が相談業務を行っています。「介護のことで悩んでいる」「ひとりで困っている」ということはありませんか。お一人おひとりに合った暮らし方を、一緒に考えていきます。お気軽にご相談下さい。

ケアプランセンターゆたか

住所：さぬき市長尾西 1602-1
電話：(0879) 23-6518
(受付時間)
月曜日～金曜日　午前 8:30 ～午後 5:30
◎ご相談料金は、無料です。

ご支援ありがとうございました

さぬき市立長尾小学校
高松市立山田中学校
の花薬局
安松遊友サロン
なかねとう歯科
長尾幼稚園
長尾聖母幼稚園
絵手紙同好会
脇美穂様
西真人様
鈴木恵子様
齊藤大哉様
青空クラブ末峯様
高橋様
石井様
山田龍輝様
クリエイト倶楽部兵藤様
内海岐様
安のぞみ園保護者会則様
池田俊孝様
鎗内職子様
鎗内悦様

編集後記

幾年前の春、意気込み充分、不安少々で飛び込んだ介護職の仕事。笑いながら泣きながら1年1年があっという間に過ぎました。「人の役に立ちたい！」と決意したあの春の「まっさら」な気持ちを忘れずに、これからも精進していきたいと思います。

この春、新しい道を歩み始めるすべての方へ、おめでとうございます。(寺島)

発行●社会福祉法人 長尾福祉会　発行者●森田 浩之
ホームページURL https://nagaofukushikai.jp
法人本部●さぬき市昭和 1032／TEL 0879-52-1727／FAX 0879-52-1728